

世界の核果類事情と市場動向(モモ、サクランボ)

米国農務省海外農業局 2023年9月19日

米国のモモ・ネクタリンの生産量は、少なくとも1982/83年度以来の最低水準に落ち込む

2023/24年度の米国のモモとネクタリンの生産量は、57万4千トンに減少すると予測される。過去5年間、生産量はかなり安定しており、65万～71万トンの範囲にあったが、2023/24年度には上位生産州の気象災害により、この範囲を下回る。カリフォルニア州では、かなりの雨量と低い気温がモモの開花を遅延・延長させたため生産量が減少すると予想され、サウスカロライナ州とジョージア州では、3月の早い開花に続く寒波により生産量が減少すると予想される。

米国のモモ/ネクタリン生産量は数十年で最低



2023/24年度は、2011/12年度に始まった下降傾向が続くと予想される。生産量は2013/14年度に数十年ぶりに100万トンを下回り、その後もそれが続いている。米国の生産量は2013/14年度から2022/23年度の間30%以上減少し、数量では30万トン減少して65万トンとなった。すべての生産州で生産量が減少しているが、最も顕著な減少はカリフォルニア州で見られ、この期間にモモとネクタリンを合わせた生産量は20万トン減少した。米国農務省農業統計局(NASS)によると、カリフォルニア州は米国の生産量の平均80%を占め、加工用のモモのほぼ100%を占めている。加工用のモモの需要の減少は、粘核種を中心にモモの生産量の減少を後押しした。ほぼ加工専用で使用される粘核種の生産量は43%急落した。さらに、2022/23年度のカリフォルニア州のネクタリンの生産量は、降雨、降雹及び氷点下に近い気温による作物被害のため、1970年代初頭以来初めて10万トンを下回った。

悪天候により、米国のモモとネクタリンの生産量は数十年で最低の水準に押し下げられ、需要の減退はすでに減少している数量をさらに悪化させた。米国の生産量は短期的には60万トン超に回復する可能性が高いが、長期的な減少傾向を抑制できるかどうかは不透明である。

生鮮モモ・ネクタリン 2023/24年度の予測

世界の生産量は、良好な生育条件が中国と欧州連合(EU)の生産量を押し上げるため、82万7千トン増の2,500万トンと予測される。輸出量は、スペインの供給量の回復によりEUの輸出量が増加するため、6万2千トン増の87万4千トンと予測される。イラクとカザフスタンへの出荷の増加により、輸入量は2万1千トン増の85万2千トンと予想される。

中国の生産量は、南部の省の良好な生育条件による増収が、低温と降雪による北部の省の開花不良に起因する減収を上回るため、50万トン増の1,750万トンと予測される。収量の増加が栽培面積の引き続きの減少

に拮抗すると見込まれる。しかし、収益の低下は、生産者が栽培面積を減らすか、サクランボなどのより収益性の高い作物に転換することを後押ししている。農地として定義された土地(政府の規則で定義される)に果樹園を有する生産者も、穀物、綿花、油糧種子、砂糖、野菜、飼料作物の面積を増やすために果樹園を伐根することが奨励または義務付けられている。輸出量は、ベトナムへの出荷の増加がキルギスタンへの出荷の減少をほぼ相殺するため、6万トンのほぼ横ばいで推移すると予測される。

EUの生産量は、悪天候によるイタリア、ブルガリア、ハンガリー、ポーランドでの損失を相殺する以上にスペインが昨年の寒さ、降霜、降雨の被害から力強く回復し、全体では40万1千トン増の370万トンと予測される。供給量の増加により、輸出は36%増加して17万トンとなり、3年連続の減少から回復すると予想される。輸入量は、トルコからの持続的な供給により4万トンの横ばいと予測される。

トルコの生産量は、良好な生育条件により過去最高であった昨年に近い水準が保たれ、100万トンを維持すると予想される。モモの栽培面積は過去10年間ほとんど変わっていないが、果樹園がより高品質で生産性の高い品種に転換されたため、収穫量は緩やかな増加を続けている。一方、国内外の消費者需要に牽引されて、ネクタリンの栽培面積と生産量の割合が増大している。ロシア、イラク及びEUをはじめとする海外市場により多くの量が仕向けられるため、国内の消費量はわずかに縮小すると予想される。輸出量は1万1千トン増の21万5千トンで、4年連続の増加となる。

米国の生産量は7万6千トン減の57万4千トンで、少なくとも40年ぶりの低水準と見込まれる。カリフォルニア、サウスカロライナ、ジョージアの3大生産州ではすべて気象災害が発生し、サウスカロライナ州とジョージア州では2年連続で破壊的な寒波に襲われた。米国農務省農業統計局は業界を調査し、2023年8月の作物生産レポートの中で米国のモモの生産量に関する予測を発表した。輸出量は供給量の減少により1万1千トン減の5万トンとなる見込みである。一方、輸入量は、メキシコからの出荷量の増加が販売年度(1~12月)初めのチリからの出荷量の減少を相殺するため、全体では3万2千トンの横ばいと予想される。国内供給量の減少と国内産のオフシーズンにおける南半球産の需要の停滞により、消費量は55万6千トンに減少すると予測される。

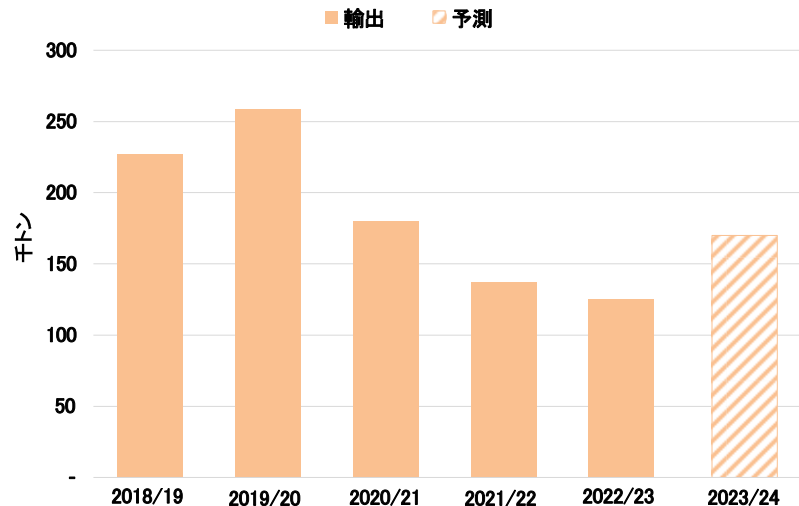
チリの生産量は、冬の降雨量が生産量を維持し、モモの栽培面積の減少がネクタリンの新植園地の成園化によって相殺されるため、16万4千トンの横ばいと予想される。安定した生産に伴い、輸出量は横ばいの10万5千トンと見込まれる。

ロシアの輸入量は、トルコからの持続的な出荷により、31万5千トンとほぼ横ばいで推移すると予想される。ロシアは依然として世界一の輸入国であり、世界の輸入量の40%近くを占めている。

生鮮サクランボ 2023/24年度の予測

世界の生産量は、EUでの悪天候による減少が、チリ、中国、トルコ、米国での増加を大部分相殺し、全体ではわずかに11万4千トン増の480万トンと予測される。輸出量は、米国とトルコからの出荷量の回復により10万トン以上増加し、史上最高の77万3千トンに達すると見込まれる。輸入量は、生産量の増加が主要な輸入国の消費者需要の増加を支えるため、10万2千トン増の73万トンと予測される。

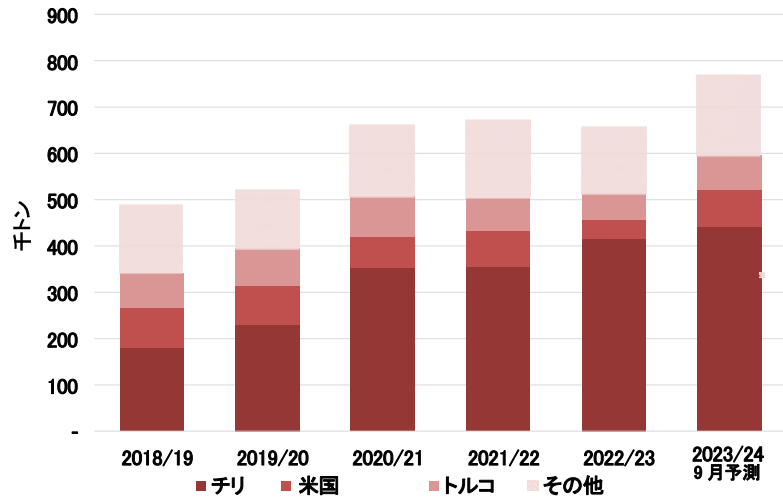
EUのモモ/ネクタリンの輸出は供給の増加で回復



トルコの生産量は、好ましい降雨が収量を押し上げ、高収量品種の新植園地が成園化するため、約7万トン増の90万トンと予想される。輸出量は、生産量の増加により1万7千トン増の7万5千トンに急増すると予測される。EUの需要の増加により、ロシア向けの出荷量の一部がEU向けに移行し、EUへの出荷量が増加すると予想される。

中国の生産量は、山東省、四川省、遼寧省の良好な生育条件により8万トン増の76万トンと予測される。最大の生産省である山東省では、昨年的高温と干ばつから回復し、生産量が反発すると予想される。栽培面積は、特に北西部と南西部の省で拡大を続けており、雨よけ栽培などサクランボの品質を向上させるための投資が続いている。輸入量は、継続する強い需要をチリからの出荷量の増加と米国での供給量の回復が支え、3万2千トン増の41万トンと予測される。

米国とトルコの出荷量の回復が世界のサクランボ輸出量を新記録に押し上げる

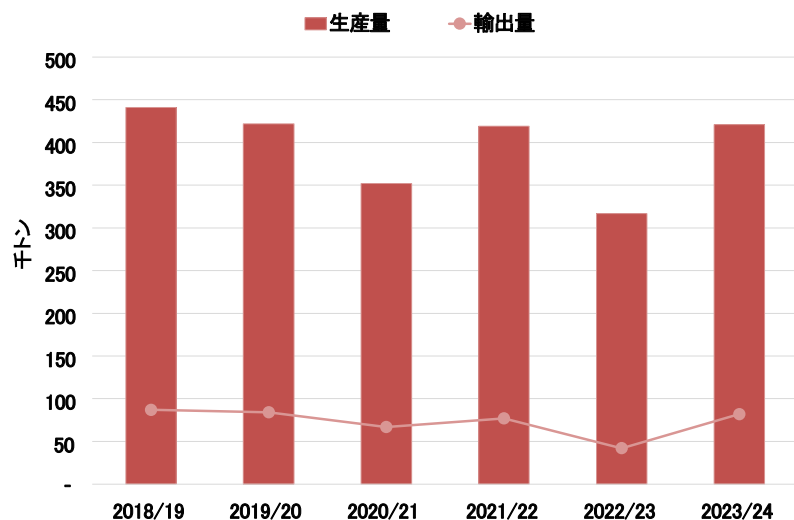


チリの生産量は、新植された果樹の成木化が続いているため、3万1千トン増の50万2千トンと見込まれる。供給量の増加と中国の旺盛な需要の継続により、輸出量も2万5千トン増の44万トンと、近年に比べて緩やかなペースではあるものの再び増加すると予想される。中国はチリの総輸出量の平均90%を占めている。しかし、チリは輸出市場の多様化に努めているため、米国など他の市場への出荷量も増加している。

EUの生産量は、域内のほとんどの生産国で開花期と着果期の降霜と大雨により生産量が減少したため、20%以上に相当する17万4千トン減の65万7千トンと予測される。供給量の減少が輸出拡大の意欲を削ぎ、また貿易は主にEU域内にとどまるため、輸出量は横ばいの1万5千トンと予測される。

米国の生産量は、カリフォルニア、オレゴン、ワシントンの各州の甘果オウトウが昨年の天候被害による不作から回復して10万トン以上力強く反発し、42万1千トンと予測される。一方、酸果オウトウは、ミシガン州の春の低温と降霜のために減少すると予想されており、米国の総生産量の強力な回復を妨げている。輸出量は、供給量の増加がその回復を促進し、8万2千トンとほぼ倍増するとともに、大部分の輸出先で増加するものと予想される。もしこれが実現すれば、米国はトルコを凌駕し、再び北半球最大の輸出国となる。輸入量は増加傾向が続き、チリからの出荷量の増加により3万トンに達すると予想される。

米国のサクランボは昨年の天候被害から回復



ロシアの輸入量は、トルコからの出荷量の減少をアゼルバイジャンとウズベキスタンからの出荷量の増加が上回るため、2年連続の減少の後で増加に転じ、2万トン増の12万トンと予測される。

モモ及びネクタリン(生鮮) 主要国の生産需給統計
(千トン)

	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24 9月予測
生産量						
中国	13,500	15,800	15,000	16,000	17,000	17,500
EU	3,881	4,066	3,224	2,907	3,253	3,654
トルコ	789	830	890	892	1,008	1,000
イラン	611	591	650	687	687	687
米国	687	709	687	707	650	574
メキシコ	161	159	173	217	217	217
ブラジル	220	183	202	199	199	199
ウズベキスタン	162	189	184	193	193	193
南アフリカ	152	158	175	181	181	181
アルゼンチン	226	198	101	168	168	168
その他	690	661	619	623	623	634
合計	21,080	23,545	21,906	22,775	24,180	25,007
国内消費量						
中国	13,458	15,706	14,959	15,989	16,981	17,480
EU	3,652	3,801	3,058	2,813	3,169	3,524
トルコ	663	725	727	722	804	785
イラン	596	557	550	621	637	632
米国	656	675	657	657	621	556
ロシア	264	231	324	292	361	358
メキシコ	192	190	195	257	245	242
ブラジル	241	196	214	210	212	219
アルゼンチン	222	196	96	166	165	166
南アフリカ	136	138	145	151	154	152
その他	914	1,057	959	862	849	871
合計	20,993	23,470	21,886	22,739	24,199	24,984
輸入量						
ロシア	228	194	286	250	317	315
イラク	40	82	76	59	53	70
英国	74	93	63	57	64	70
中国	22	27	37	33	45	40
EU	27	24	39	43	41	40
サウジアラビア	34	38	49	39	36	40
カザフスタン	48	58	53	32	24	35
米国	38	36	31	33	32	32
カナダ	37	39	41	41	36	30
スイス	29	31	29	28	29	30
その他	189	248	221	174	154	150
合計	765	870	926	789	831	852
輸出量						
トルコ	127	105	163	170	204	215
EU	227	259	180	137	125	170
チリ	97	102	99	112	104	105
ウズベキスタン	54	56	86	56	77	70
中国	63	121	78	45	63	60
イラン	16	35	100	67	50	55
ヨルダン	50	70	54	59	42	50
米国	69	71	61	83	61	50
南アフリカ	18	21	32	31	28	30
アゼルバイジャン	9	8	8	23	27	25
その他	92	64	61	43	31	44
合計	821	914	921	825	812	874

販売年度は、北半球諸国では第1年次の1月に始まり、南半球諸国では第1年次の11月に始まる。

サクランボ(甘果及び酸果、生鮮) 主要国の生産需給統計
(千トン)

	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24 9月予測
生産量						
トルコ	824	846	914	874	833	900
中国	340	450	520	630	680	760
EU	835	738	653	726	831	657
チリ	206	256	386	392	471	502
米国	441	422	352	419	317	421
ロシア	279	292	306	332	332	332
ウズベキスタン	229	241	256	287	287	287
イラン	214	253	284	279	279	279
ウクライナ	303	236	238	256	256	256
セルビア	147	114	181	171	171	171
その他	254	237	247	229	231	236
合計	4,071	4,086	4,336	4,594	4,687	4,801
国内消費量						
中国	520	680	856	948	1,058	1,170
トルコ	749	766	827	803	775	825
EU	851	770	688	751	844	682
ロシア	372	378	417	440	432	452
米国	366	347	298	363	302	369
ウクライナ	300	233	239	257	257	256
イラン	212	238	257	259	265	249
ウズベキスタン	201	224	224	226	261	247
セルビア	133	98	164	159	157	161
チリ	26	27	33	36	56	62
その他	320	291	303	313	251	284
合計	4,048	4,052	4,304	4,555	4,656	4,758
輸入量						
中国	180	230	336	319	378	410
ロシア	93	85	111	108	100	120
EU	43	50	53	44	29	40
カナダ	28	28	26	32	19	30
米国	12	10	13	21	27	30
韓国	19	15	17	19	11	20
カザフスタン	25	8	18	29	9	15
台湾	12	12	13	14	12	15
英国	15	13	14	16	14	15
イラク	14	15	12	10	9	10
その他	25	24	24	25	21	25
合計	466	491	634	637	628	730
輸出量						
チリ	180	229	353	356	415	440
米国	87	84	67	77	42	82
トルコ	75	81	88	71	58	75
ウズベキスタン	28	17	32	61	26	40
アゼルバイジャン	24	27	31	20	29	35
イラン	2	16	27	20	13	30
EU	27	18	15	19	16	15
モルドバ	14	7	10	8	13	15
カナダ	13	9	7	10	12	10
セルビア	16	17	18	12	14	10
その他	24	19	18	22	20	21
合計	488	524	664	675	659	773

販売年度は、北半球諸国では第1年次の4月に始まり、南半球諸国では第1年次の11月に始まる。サクランボには、甘果オウトウと酸果オウトウを含む。